

介護

2014年 新年号

発行 社会福祉法人 せいざんりかい 青山里会
四日市市山田町5500-1
☎059-328-2177
<http://www.normari.jp>

VOL.28

2014.1.8

- ① 青山里会創設40周年に向け **始動**
- ② 年頭のごあいさつ (理事長・常務理事)
- ③ 2014年びわじま介護センター「名古屋市」にオープン
- ④ 軽費老人ホームリニューアルオープン 2013.11.1
- ⑤ 医師、介護福祉士、社会福祉士職員からのひとこと
- ⑥ 地域と共に交流を深め
- ⑦ 青山里会この一年 (2013年を振り返り)

青山里会(2014年)創設40周年に向け **始動**



1973年(S48)資材高騰苦難を乗り越えて、念願の特別養護老人ホーム(100床)完成の喜びから40年



青山里会は、年齢や障がいの有る、無しに関わりなく、すべての人が平等に、豊かに、安心して暮らすのがあたりまえで、普通のことであるという思想、ノーマリゼーションを理念として、福祉事業の充実に努めています。



2014年(平成26年)抱負

理事長・医学博士 川村 陽一

新年おめでとうございます。

昨年は地域住民の皆様方をはじめ関係諸団体等多くの方々にご支援を賜ることとなり、厚く御礼申し上げます。

青山里会は、昭和49年に小山田特別養護老人ホームを開設して以来、今年で6月で創設40年という節目の年を迎えることとなり、この長い歳月にわたり福祉事業を送ってこられたのもひとえに皆様方のご尽力の賜ものと深く感謝申し上げます。

今年は、法人として初めてとなる県外(名古屋市)に福祉施設を開所することとなります。私たちは、今後ますます地域に欠かすことのできない社会福祉法人としてサービスの充実に努めて参りたいと思います。

地域の皆様、各関係機関の皆様、青山里会はこれからも「誰もが安心して暮らし続けられる社会(ノーマライゼーション)」を実現できるよう最善をつくして参りますので、どうか末永くご支援の程宜しく願い申し上げます。



ノーマライゼーションの
実現に最善を...

《写真》新年の理事長会議と幹部スタッフ



常務理事・社会福祉士 西元 幸雄

新年おめでとうございます。

地域の皆様、関係諸団体の皆様、本年も青山里会が社会に役立つ健全な事業運営ができるよう、どうかご支援の程よろしく願い申し上げます。

早いもので青山里会も今年で創設40年を迎えることとなります。40年の軌跡を振り返れば、法人設立から今日に至るまでの間には社会情勢も変遷し、ご利用者の困りごと多様化、複雑化し、社会福祉法人の在り方もまたそうしたニーズに対応できる柔軟な事業展開が求められてきています。

1975年(S50)―私たちは地域福祉活動の原点とも言える第一歩として「生きがい。ここに再び」を主要テーマに掲げ、四日市市民ホールでケアの実演、講演、相談コーナーなどを開催し、社会福祉の輪を地域に広げていくことを目指して参りました。

(福祉ニーズは他人事では済まされない社会問題であります。)

だからこそ青山里会は、これから先も地域に助け合いの輪が広がるよう、そして住民の方にご活用頂ける一つの社会資源として皆様とともに歩んでいければと願っております。

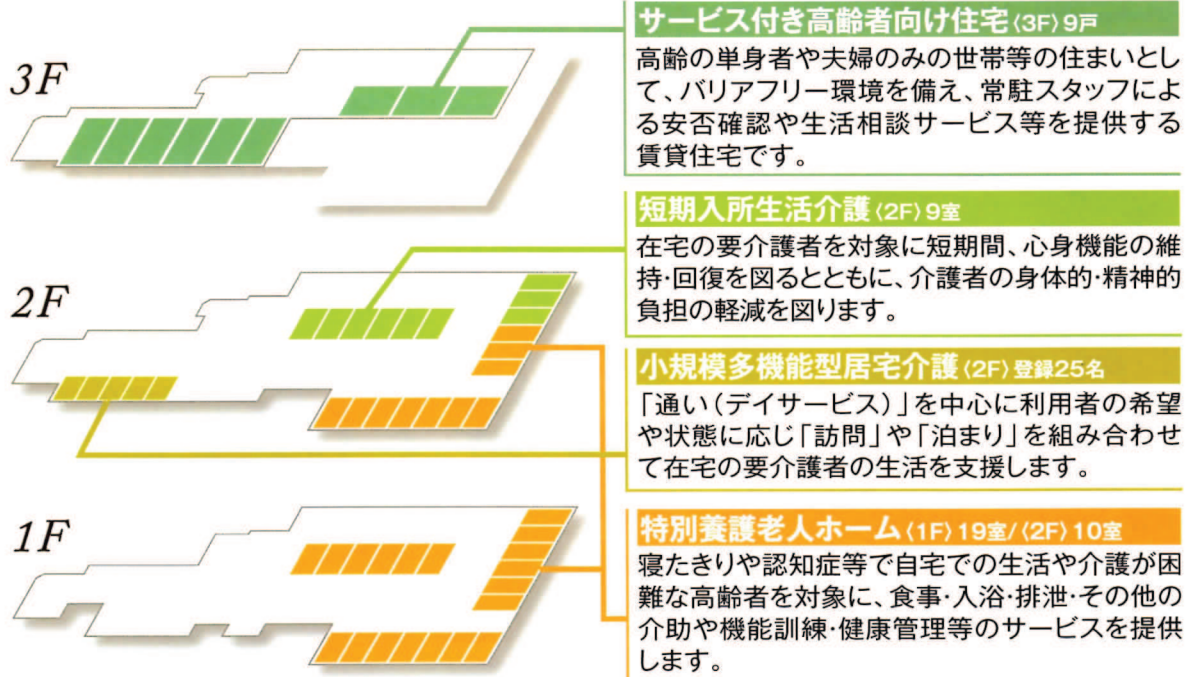
青山里会が地域社会に役立つ
社会資源となれるように...

ここから始まる、ここから変わる。



複合型介護老人福祉施設 びわじま介護センター

青山里会は、本年で40年を迎えることになり、その経験と実績のもとに、医療と福祉が連携した総合介護施設を名古屋市内に開設します。現在、介護福祉48事業を展開し、950余人のスタッフを擁する青山里会にとって、三重県以外での施設運営は初。これまで利用者様や地域との対話に基づくサービス開発を続けてきた実績とノウハウで、新たな都市型の介護サービスの構築に挑戦していきます。



◎施設概要

事業所

びわじま介護サービスセンター

〒451-0053名古屋市西区枇杷島2丁目1932番地

法人本部

社会福祉法人 青山里会

〒512-1111四日市市山田町5500-1

TEL:059-328-2177

FAX:059-328-2905



小山田軽費老人ホーム リニューアルオープンのご案内

2013
10/1



軽費老人ホーム外観

壁を吹き付けて塗装し、
真新しい建物になりました。



施設長(社会福祉士) 紀平 雅司 (きひら まさし)

この度、小山田軽費老人ホームは、高齢者の生活ニーズの多様化、入所者の重度化・重症化、「住まい」としての居住機能の強化を目的に、リニューアル改修工事を行いました。

軽費老人ホームは、これまで低所得者を対象として「住居」「介護」「生活支援」を中心にサービスを提供してきましたが、今後はさらに「最期まで安心して住める住居」「介護・医療サービスの強化」「介護予防の推進」「見守り・安否確認・買い物・食事サービス」等の多様な「日常生活支援サービス」を外部機関と連携して提供していくことが求められています。

今後も多様化する利用者ニーズに耐えうる施設として、軽費老人ホームの機能強化を図っていきたいと考えておりますので、是非ご利用いただきますようお願いいたします。(平成25年10月リニューアルオープン)

サロン・喫茶

食堂を新たに増築し、そこでは中庭を見ながらゆっくりとくつろげる食空間に。ティータイムにも利用できるとあって、読書をするために利用される方も…



施設中庭

けやきの周りにウッドデッキを設置し、晴れた日には日差しに当たりながら団らんの場としても…



バリアフリー居室 (順次改装予定)

20㎡の広さがあり、段差のないバリアフリー設計でのびのびとした快適な生活を送ることができます。



機械浴室

要介護になっても必要な介護が受けられるように機械浴を設置しました。



多目的トイレ(共同)

トイレもリニューアルし、衛生的にも利便的にも介護にやさしい造りになりました。

新任の医師就任



徳留 信寛 (とくだめ しんかん)

1969年 九州大学医学部 卒業
1972年 九州大学医学部公衆衛生学教室 助手
1980年 佐賀医科大学地域保健科学講座 助教授
1992年 名古屋市立大学公衆衛生学教室 教授
2009年 独立行政法人国立健康・栄養研究所 理事長

学会活動は、日本公衆衛生学会、日本衛生学会、
日本産業衛生学会、日本疫学会、
日本癌学会、日本栄養改善学会など

ごあいさつ

名古屋学芸大学学長 井形昭弘先生のご紹介のもと、2013年9月に面接のうえ採用くださり、社会福祉法人青山里会が本年創設オープン予定のびわしま介護センターへの配属を承っております。現在、介護総合センターかんざきにおいて、見習い・修業中です。

略歴のとおり、私は、3大学において37年間教育・研究に従事し、その後、4年間国立健康・栄養研究所に勤務しました。青山里会における仕事は、私にとって第5の職場、第3の新しい(多分、最後の)領域です。

わが国では、今日、高齢者が国民4人に1人(10年後には、3人に1人)という世界でトップの超高齢社会を迎えています。国・地方公共団体の高齢者福祉施策を補完し、コミュニティの人びとと連携した地域包括ケア活動は非常に重要です。本会のノーマリゼーション理念に基づき、「雨ニモマケズ」の心に倣い、心身の障害あるなし・貧富の分け隔てなく、人びとが豊かで安全・安心な生活を送り、幸福の追求、QOLの向上、自己実現ができるよう下支えする社会福祉事業に奉仕したいと考えております。

川村陽一理事長先生をはじめ、青山里会の職員の皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

フレッシュ職員からのひとこと



河原 司(介護福祉士)

人の笑顔につながる仕事…

四日市福祉専門学校に通いながらケアワーカーとして青山里会に入社し、7年が経ちました。入社当時は介護の現場に慣れるまで、業務に追

われているだけの状態でしたが、そんな毎日の中でも、ご利用者が贈ってくださる「ありがとう」の一言にやりがいを感じいきいきと働くことができます。

「やりがいのある仕事」とは、人によっては考え方も違うと思いますが、介護現場の中で言うならば、ケアプランの作成や介助方法の振り返り、楽しいイベントの計画など…現場で出てくる様々な課題一つずつと真剣に向き合ってクリアしていく過程、その結果としてご利用者の笑顔が見られる事だったりするのではないのでしょうか。介護職は「自分にとってのやりがいが人の笑顔につながる仕事」だと思います。

入社して以降、たくさんのやりがいを感じてきました。これからも、より多くの笑顔を増やしていくように日々努力していきます。



鈴木尚幸(社会福祉士)

一期一会を大切に日々精進して…

私は青山里会に社会福祉士として入社して6年目になります。

日頃よりご利用者やご家族、地域の皆様と関わりの中、相談業務において、悩みや迷いに直面し、言葉に詰まるような場面も多々あり、まだまだ知識や技術等、社会福祉士としての未熟さを痛感することも少なくありません。

しかし、そういった場面こそが自己覚知できる大切な瞬間でもあり、また自身の成長にも繋がると私は考えています。

ご利用者の思いや困りごとに対し、どのように関わりを深め、信頼関係を作り出し、解決へのアプローチを作り出していいのかを自分自身の身に置き換え、支援していくように心掛けています。これからもご利用者やご家族が私ども青山里会と関わりをもつ以前よりも、安心して穏やかな生活を送ることができ、そして元気で笑顔になれる日が少しでも増えればと思っています。

私は社会福祉士として、また青山里会の一職員(生活相談員)として、これからも一期一会を大切に、日々精進してまいります。

●●●地域交流

いきいき安心生活館 めくみ

平成24年4月に大型団地の中心にある商店街の空き店舗を活用し、「社会福祉法人青山里会」と住民組織「ライフサポート三重西」とが連携協働した、地域で支え合えるを事業を発足。(1日に約20名あまりの地域住民が利用)

三重西地区

連携協働

いきいき安心生活館 めくみ

- ・生活相談窓口
(在宅介護支援センター)
- ・コミュニティレストラン
- ・地域のサークル活動、会議
- ・多様な勉強会 等

ライフサポート 三重西

日常生活支援

- ・ゴミだし
- ・配食
- ・自宅の清掃
- ・屋外作業
- ・外出支援
- ・買い物支援 等



事業の趣旨

1) 自らの生活は自らが守る

出来るだけ長く在宅生活を続けるために、高齢者世帯の生活を住民自ら守る覚悟を持つ

2) 地域完結型

“住民の、住民のための、住民による”日常生活支援事業の実施

年間2,000円会費

サービス希望者
(ライフサポート会員)



65歳以上の
高齢者



事業のシステム

ライフサポート三重西
事務局



① サービス依頼

④ 料金の支払い

③ サービス実施

② 受付
⑤ 住民の負担

サービス提供者
(地域住民)



愛称:すけっとくん

の様子

小杉ふれあい学校開校のご紹介



た。この小杉ふれあい学校を通じて、地域住民の皆様と共に課題を認識し、共に学べる場になればと思っています。今後も、身近にあるテーマを取り上げ、誰もが気軽に参加でき、意見を交わす事のできる和やかな雰囲気の勉強会を目指していきたいと思っておりますので、是非、皆様お誘い合わせの上、小杉ふれあい学校へのご参加をお待ちしております。



●小杉介護サービスセンター 平野

小杉介護サービスセンターでは、住み慣れた地域で安心して生活していけるまちづくりを目指していけるよう、「小杉ふれあい学校」として、地域の勉強会を平成25年度より立ち上げることとなりました。

これまで開催した勉強会では、福祉や介護についての問題や課題、身近な健康づくりに関する事などを中心に行い、参加者からは「今後も定期的に参加したい」との声を多くいただきました

四郷福祉教室

今年も恒例のバスハイキングを開催しました!

四郷地区福祉教室は、2カ月に1回、四郷地区市民センターで開催しています。毎回のテーマは、地域住民の方々と当在宅介護支援センターからなる運営委員会において参加者のアンケートや旬の話題の中から決定し、さまざまな分野の講師をおよびして開催してまいりました。

また参加者の声として「教室を飛び出して野外活動をしたい」という要望が強く、H15年の郷土散策に始まり、もっと遠くへ行ってみたいという思いから、今年は嵐山・嵯峨野散策へバス4台、168名の方がご参加して頂きました。嵐山周辺は、山全体が鮮やかに色づき、格別な美しさを見せており、その中を思い思いに散策を楽しまれておりました。



●四郷在宅介護支援センター 渡辺

青山里会(2013)この一年

「みなさま本当に一年ありがとうございました」



職員忘年会(12月)



入社式(4月)



合同法要(7月)

水沢在宅サービスセンター開所(3月)



敬老行事(9月)



表彰(6月)



消防訓練(9月)

盆踊り(8月)



温泉まつり(11月)



韓国在宅福祉協会より視察